
D N A

S T A R ジョーカー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

DNA

【Zコード】

N3748C

【作者名】

STAR ジョーカー

【あらすじ】

生物合成装置開発のつもりが・・・

休日の研究室の内部は静まりかえっていた
友人と私はDNA合成装置の前に立っていた

「すごいなあ！これが噂の機械か、生物が合成できるんだろ？」

「どうしても見たいと言う友人にせがまれて、規則違反だがこっそり
連れてきた

主任研究員である私の特権を使って・・

「ああ・・まだ試験段階だがね、倫理的な問題がクリアできれば、
理論的にはどんな生物も
作れる・・理論的にはね・・最終的な目標は長期惑星間航行
にも耐えられる
絶対的な生物機能を持つた人間の創造だね」

「これで人類の夢だつた宇宙開拓の歴史が、始まるつてわけだな？」

「このキーで入力して、塩基配列を操作する。タンパク質の合成ス
トックは軽く10万種を超える。

細菌からクジラに至るまで合成可能だ。全く新種の生物をつくる
ことも可能だが、さつきも言つた

「ようやく、倫理的、安全保障上、制約が多いがね」

「すごいな！・・・こっちの端末は何を操作するんだい？」

そういうて友人はもうひとつ装置の前へ立つた。

「ああ、それは機械合成装置だ、当初は生物と機械の融合した人間を考えていたんだが・・・」

計画の変更でやはり生物一本でスタートすることになつて・・・。いづれはそつちも試験することになるだろつ。あらゆる機械の組み立てが可能だ、

マイクロカメラから宇宙船までね・・・君の専門だひ?」

友人は機械工学の専門家だが、最近自宅にこもつて何かを研究していたらしい。

そんな彼が突然、研究室を見たいと言いだしたのだ。

実験プラントの完成と同時期だったので、ひょつとすると、DNA合成装置よりも

この機械合成装置のほうに興味があつたのかもしれない。

へたな機械工場よりも効率のいい機械なのだ、データを入力するだけでOKだ

しばらく何かを考え込んでいた友人はおもむろに振り返り

「なあ、じつは俺にひとつアーカイブがある・・・もちろんお前の研究に役立つことだ

俺の理論も実証したい、今日はデータを持ってきているんだ、この機械を使わせてくれないか?

惑星間航行に革命的な発明なんだ、」

私は一瞬躊躇したが、惑星間航行に関すると聞かされでは、心が動いた、友人の精神状態も普通のようだし、兵器でもつくれないかぎり、特に問題はないだろうし、メインの研究には影響がないかぎり、誰も文句は言つまい

「トースターでもつくるのかい？いいよ使えよ」

私の面白くないジョークには反応なく、友人はさつそくデータ転送を始めていた

それからしばらくたつて、機械の組み立てが始まった
騒音と工作機械、電子部品の基盤やらが、透明なカプセルのなかで
めまぐるしい速度で
組み上げられていく様を、友人と私は黙つて見ていた。

機械はそれほど大きくなく、人間よりもちいさいサイズだ

装置の動きが止まつた・・完成だ

透明なカプセルが自動的に開き、おもむろに物体が動き始めた
俺は失望した・・なんとも不格好なロボットだつた

惑星間航行にロボットを使うなど、なんともレトロな発想だ、そん
なものはすで実用化されて久しい

ロボットは我々の前まで来ると、腹部の亀裂から何かを取り出して
床に据え付けた

次の瞬間俺は愕然とした・・

ロボットが床に据え付けた何かの向こうには、見たこともない銀河
が輝いていた。

友人は笑っている

私は、そのネコともタヌキともつかない奇妙なロボットをまじまじと見つめた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3748c/>

DNA

2010年10月11日14時11分発行